



サイレージ用資材（サイマスター）コーナー



代用乳コーナー



TACSしべちゃコーナー



比較審査の様子①



比較審査の様子②



比較審査の様子③

全国の酪農家様と関係者が結束を強めると同時に、酪農の将来に向け、夢を育むきっかけとなる大会であり、10年分の乳牛改良の成果が見られた大会でありました。次回は5年後の平成32年秋、宮崎県都城市で九州・沖縄ブロック大会開催となります。

最後になりますが、弊社は牧草・飼料作物の種子開発から、配合飼料、飼養管理技術、微生物資材の提供を通じ「環境保全型農業」を提案させていただき、北海道の底力を支える酪農家様へ総合的サポートさせていただきますので、今後ともよろしくお願いいたします。

第67回日本酪農研究会 福岡市にて開催

営業統括室 小坂 康

日本酪農青年研究連盟（酪青研：山本隆委員長）主催の第67回日本酪農研究会が、農林水産省、福岡県をはじめとする54関係団体の後援・協賛のもと、11月17～19日の3日間、ヒルトン福岡シーホークにて、全国から320余名の参加者を集めて開催されました。

本研究会の開催目的は、日頃の経営成果と実践活動の発表に併せ、分析検討・知識技術の交流を通じ、山積する諸問題の解決を図りながら、国際競争に勝つ残るわが国酪農産業の未来を切り拓き、



山本委員長の開会挨拶

発展に寄与することです。

主催者挨拶された山本委員長は、10年ぶりの九州福岡の地での開催に際し「TPPの大筋合意がなされ、我が国酪農が国際競争の荒波に踏み出すこの時期、福岡にて開催される今大会はまさに国際化に立ち向かう我々酪農家にとって象徴的な意味を持つ大会になる。我々酪青研盟友の結束をさらに強め、酪農家同士の絆を確かめ合い、新たな成長につながることを祈念する。」と述べました。

当社グループを代表して挨拶した西尾代表取締役社長は、「TPP交渉の大筋合意がなされ、日本の酪農乳業界は新たなステージを迎える。今後とも酪青研会員の皆様をはじめとした全国の酪農家の方々と手を携えて、企業理念の一つである「酪農生産への貢献」の実現に向けて、グループ各社とともに取組みを進めたい。」と述べました。研究会で

は、全国から選抜された酪農家6名による酪農経営発表と5名の意見メッセージ発表が行われました。

経営発表の中から「日々是新（ひびこれあらたなり）」と題して発表した北海道協議会東根室地方連盟の本田憲一氏が最優秀賞（黒澤賞）・農林水産大臣賞を受賞されました。同氏は21歳で就農、24歳で父親から経営移譲を受け、平成16年には規模拡大して個体乳量増を目指すも、急激な乳量増加が牛に負荷となり乳房炎が多発、飼料費や資材費の高騰もあって、思ったような所得が確保できない状況に陥った。そのため、放牧を活用した低コスト草地型酪農に転換することを決断し、自給飼料生産のための積極的な植生改善、夜間放牧の導入、糞尿の草地への還元、バランスのとれた後継牛確保、労働負担の軽減などに取り組み、所得率がプラス8.5%、乳飼比でマイナス19.4%の改善、乳牛事故の減少、体細胞数の減少などが高く評価されました。

今回の事例発表者は酪農4代目から2代目で、いずれも経営を継承する中で経営困難に直面したことが共通しており、経営困難への対応策とその結果作り上げられた経営はそれぞれ異なることも特徴的でした。

発表会後に行われた講演会では、「挑戦～今、私にできる

こと～」と題して車いすアスリートの副島正純氏より、23歳のときに骨髄を損傷して車いす生活になり、絶望のどん底から車いすマラソンに出会い、現在はリオのパラリンピック出場を目指し活動が続けられていること、「自分の人生をどこまで楽しめるのか、それに挑戦したい」とのお話に、会場全体が感動に包まれ、副島氏から勇気をいただきました。

続いて、「口蹄疫を経験して・・・今、教育の現場から」と題し、宮崎県立高鍋高等学校の明永弘道先生・福留賢次先生より、平成22年3月に宮崎県で発生した口蹄疫の体験をお話頂きました。当時、経験した乳牛32頭、肉牛22頭、豚281頭の殺処分、いつ終息するか分からない口蹄疫の恐ろしさ、命の大切さを改めて実感しました。

本大会は、厳しい情勢下での酪農経営のあり方を発表事例に学ぶと共に、全国の参加者との貴重な情報交換の機会として大変有意義な大会となりました。次回大会は神戸開催となり、関係する皆様の一層のご参加を期待申し上げます。尚、詳しいお問合せは、最寄りの弊社各営業所までお寄せください。



開会の様子



雪印種苗展示ブース



当社赤石社長より雪印種苗賞の授与



酪農経営発表された6名の皆様



意見発表された5名の皆様



講演会：車いすアスリート副島正純氏(右)と宮崎県立高鍋高等学校明永弘道先生・福留賢次先生(左)

